

家畜衛生便り



No.315

平成28年11月18日

徳島県家畜防疫衛生センター
西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚
TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄
TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

家畜保健衛生所ホームページ URL
http://www.pref.tokushima.jp/docs/2014_022000090/

日本国内で死亡水鳥の簡易検査または遺伝子検査で A型インフルエンザウイルスの陽性反応

1. 北海道標津郡中標津町で回収された

死亡オオハクチョウ1羽

11月7日、北海道で回収されたオオハクチョウの死体よりA型鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査にて、陽性反応が出ました。現時点では、病性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザであるかは、不明です。

2. 秋田県秋田市の死亡コクチョウ2羽(2例)

秋田県秋田市の動物園で飼育されていたコクチョウで、11月15日及び11月17日にそれぞれ1羽の死亡を確認し、簡易検査を行ったところ、A型インフルエンザウイルスの陽性反応が出たとの報告がありました。現時点では、病性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザであるかは、不明です。

関係者全員が一致協力し、高病原性鳥インフルエンザの発生防止に努めましょう！

1. 異常家きんの**早期発見**，**早期通報**にご留意ください。
鶏の日常の健康観察を徹底し，死亡率の急増等，鳥インフルエンザを疑う状況があれば，直ちに通報してください。
2. 野鳥や小動物の鶏舎等への**侵入防止**をお願いします。
3. 農場出入り口・周辺での**消毒を徹底**してください。
4. 農場に出入りする**人・車両の記録**をお願いします。
5. 当所からの広報など鳥インフルエンザ関係**情報の収集**に努めてください。
6. 韓国，中国など発生国への**不要不急の旅行は自粛**をお願いします。

現在，我が国は，北方からの渡り鳥の飛来シーズンにあり，今後も多くの鳥種が飛来し，これら「渡り鳥」とスズメ等の「留鳥」が接する機会が増加することが予想されます。

「野鳥対策」の再徹底をお願いします。

<連絡先> 徳島県家畜防疫衛生センター

西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
0883-24-2029

東みよし庁舎
0883-82-2397

家畜保健衛生所は，休日・夜間も24時間対応しております。

韓国においても野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザ（H5N6亜型）が確認されています

10月28日、韓国の忠清南道天安市において鳳岡川で採取された野鳥の糞便からH5N6亜型の高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されました。

このことを踏まえ、日本国内では本格的な冬鳥の飛来シーズンを迎えることから、現在実施している野鳥サーベイランスにおいて、対応レベルが11月11日から「**対応レベル2**」に引き上げられました。

●対応レベルの実施状況

| 対応レベル | 鳥類生息状況等調査 | 死亡野鳥等のHPAI検査 | | | |
|---------------|-------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| | | リスク種1 | リスク種2 | リスク種3 | その他の種 |
| 対応レベル1 | 情報収集監視 | 1羽以上 | 3羽以上 | 10羽以上 | 10羽以上 |
| 対応レベル2 | 監視強化 | 1羽以上 | 1羽以上 | 10羽以上 | 10羽以上 |
| 対応レベル3 | 監視強化 | 1羽以上 | 1羽以上 | 5羽以上 | 10羽以上 |

「対応レベル2」では、リスク種1・2に該当する野鳥が1羽以上死亡している場合、高病原性鳥インフルエンザの検査を実施します。

同様にリスク種3及びその他の種に該当する野鳥では10羽以上死亡している場合、高病原性鳥インフルエンザの検査を実施します。

●リスク種1とは・・・

ヒシクイ、マガン、シジュウカラ、コブハクチョウ、コハクチョウ、オオハクチョウ、オシドリ、キンクロハジロ、オジロワシ、オオワシ、チュウヒ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、クマタカ、チョウゲンボウ、ハヤブサ

●リスク種2とは・・・

マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、マナヅル、タンチョウ、ナベヅル、バン、オオバン、ユリカモメ、コノハズク、ワシミミズク

●リスク種3とは・・・

ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ウミネコ、セグロカモメ、トビ、コミミズク、コチュウゲンボウ等

●その他の種とは・・・

上記以外の鳥種すべて

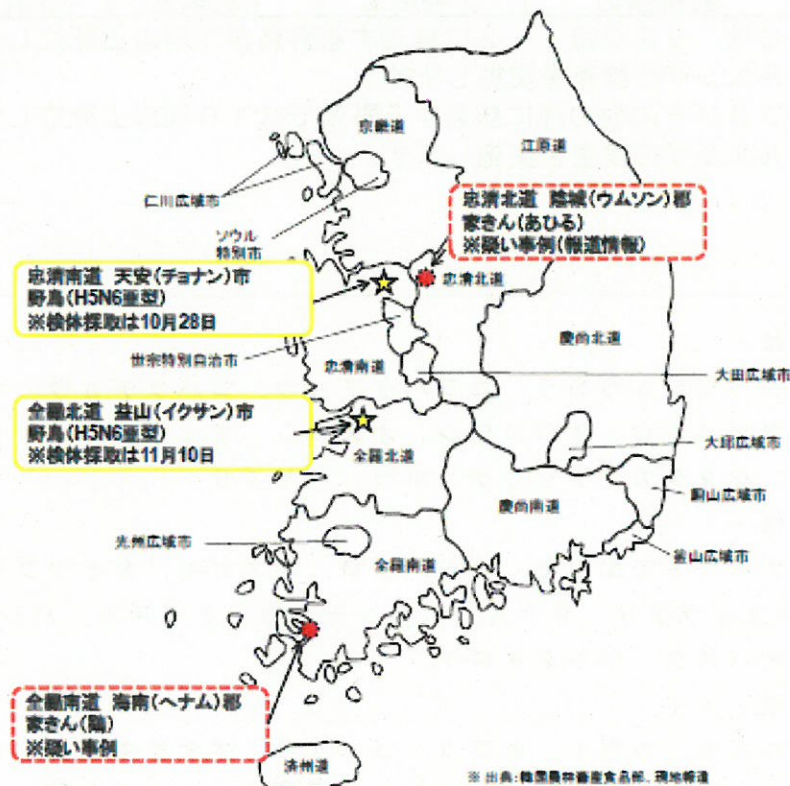
韓国の家きんにおける 高病原性鳥インフルエンザの疑い事例

11月16日、韓国家畜衛生当局が、同国全羅南道海南郡の採卵鶏飼養農場（飼養羽数4万羽）で、高病原性鳥インフルエンザの疑い事例が確認されたことを発表しました。

当地報道によれば、この疑い事例では、死亡羽数は約2千羽とされています。また、この疑い事例のほか、同国忠清北道陰城郡のあひる飼養農場（飼養羽数約1万羽）でも、死亡羽数の増加の通報があり、検査が予定されている旨の報道もあります。

2016年11月16日現在

韓国における高病原性鳥インフルエンザの状況
(2016年11月)

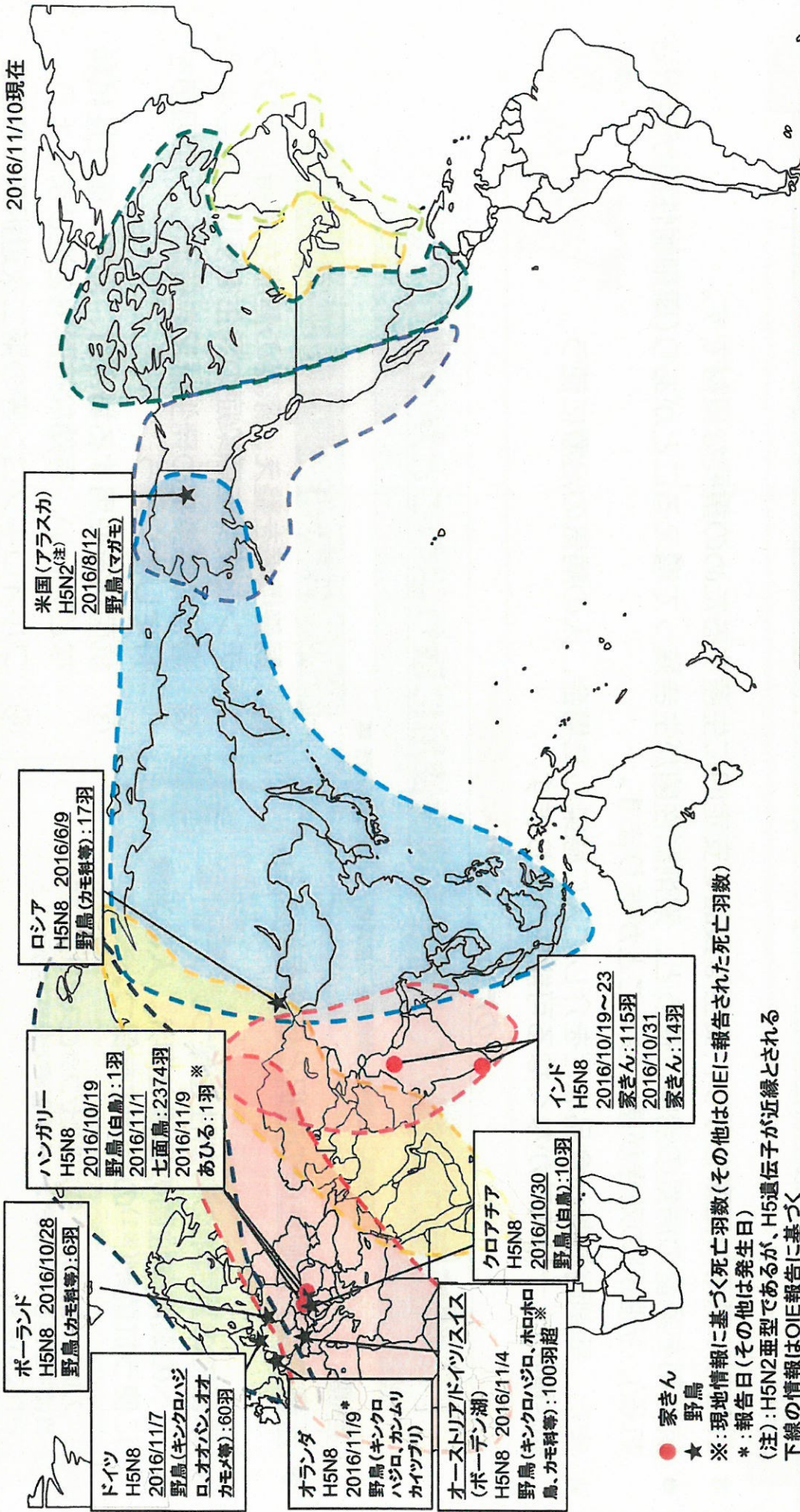


ゼロのつく日は消毒の日

高病原性鳥インフルエンザの発生を防止しましょう！

最近のHPAI (H5N8) 発生状況と野鳥 (カモ類) の渡りのルート

2016/11/10現在



● 家きん
★ 野鳥

※: 現地情報に基づく死亡羽数(その他はOIEに報告された死亡羽数)
*: 報告日(その他は発生日)
(注): H5N2亜型であるが、H5遺伝子が近縁とされる
下線の情報はOIE報告に基づく

本図は、野生のカモの個体群の渡りの範囲を大きく区分けした概念図。区域は厳密ではなく、また、区域間の行き来があることに注意が必要。

作 図: 農林水産省消費・安全局動物衛生課
参 考 文 献: OIE; Boere, G.C. & Stroud, D.A.(2006); Isakov, Y.A.(1967)
監 修: 金井 裕(日本野鳥の会参与)

～畜産農家の皆様へ～ 抗菌剤を慎重に使用しましょう。

背景

- 抗菌剤は家畜の健康を守り、安全な食品を安定的に生産するための重要な資材です。
- 抗菌剤を家畜の病気の治療に使うと、薬剤耐性菌が生き残って増えることがあります(薬剤耐性菌が選択される)、抗菌剤の効きが悪くなる場合があります。
- また、薬剤耐性菌が食品などを介して人に感染した場合、人の病気の治療に使う抗菌剤が、十分に効かなくなる可能性があります。



そのため・・・

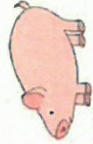
関係者が連携して抗菌剤の慎重使用に取り組むことが必要です。

獣医師、生産者、動物用医薬品業者、家畜保健衛生所等

目標

◆ 家畜での薬剤耐性菌の選択と伝播を抑える。

- 家畜での抗菌剤の有効性を保つ。
- 人への薬剤耐性菌の伝播を抑え、人の治療に使う抗菌剤(※1)の有効性を保つ。



(※1) フルオロキノロン、第3世代セファロスポリン、15員環マクロライドなどは、人の医療で重要性が高いとされています。

(※2) 第二次選択薬として承認されている抗菌剤の成分や製剤は、動物医薬品検査所HPに掲載しています。

URL: <http://www.maff.go.jp/nval/risk/index.html>

動物検HP内で

第二次選択薬 製剤一覧

検索



慎重使用の具体的な取組

- ① 飼養環境を整え、家畜の健康を維持し、ワクチンを使って感染症の発生を予防しましょう。
- ② 過去の感染症の発生状況を確認し、原因菌を特定しましょう。
- ③ 抗菌剤を使用する場合は、まず、感受性試験などを行い、有効な抗菌剤を選びましょう。
- ④ フルオロキノロン等の第二次選択薬(※2)を最初の治療から使用するのとは避けましょう。
- ⑤ 感染症や薬剤耐性菌の状況などに関する情報を、関係者間で共有しましょう。